

三宅島の火山活動解説資料（平成 21 年 4 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

多量の火山ガス放出及び火山性地震のやや多い状態が続いています。
火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。
平成 20 年 3 月 31 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴火活動の状況（図 1～図 3、表 1、表 2）

1 日 16 時 17 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 600m まで上がり東に流れるのを観測しました。1 日夕方に行った現地調査では、山頂火口から約 3 km の島の東側で微量の降灰を確認しました。この噴火では、空振¹⁾を伴う振幅のやや大きな低周波地震を観測しました。

また、18 日 01 時 06 分頃、振幅のやや大きな地震が発生しました。噴煙の状況は雲のため不明でしたが、18 日早朝に行った現地調査の結果、山麓の南東から南側にかけて微量の降灰を確認したことから、地震発生と同時刻に、ごく小規模な噴火が発生したと推定されます。

三宅島で噴火が発生したのは平成 20 年 5 月 8 日のごく小規模な噴火以来です。

1) 噴火などで発生した空気の急激な圧力変化が大気中を周囲に伝わる現象。

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 4 - 、表 2）

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね 300m で推移しました。

7 日及び 13 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり 800～3,200 トンで、依然として多量の火山ガス放出が続いています。



図 1 三宅島 1 日 16 時 17 分頃に発生したごく小規模な噴火直後(16 時 19 分頃)の写真
山頂火口北西側の三宅火口カメラによる

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 5 月分）は平成 21 年 6 月 9 日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

・火口及び山体内の熱の状況（図 5）

地磁気連続観測²⁾では、短期的には火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

2) 山頂火口の北側（三宅島 A 点）で全磁力値が増加（図 5 で上向きの変化）、南側（三宅島 A 点以外の観測点）で減少（図 5 で下向きの変化）の変化がみられた場合は、火山体内部で温度上昇があったと考えられます。

・地震や微動の発生状況（図 4 - 、図 6 、表 2）

1 日 2 時頃、11 日 3 時頃、24 日 20 時頃から 21 時頃にかけて振幅のやや大きな火山性地震が一時的に増加しました。また、1 日及び 11 日には火山性微動が観測されましたが、いずれも振幅は小さくその他の観測データに特段の変化はありませんでした。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

今期間発生した火山性地震の震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

・地殻変動の状況（図 4 - ）

GPS 連続観測によると、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続しています。

表 1 三宅島 2001 年以降の噴火リスト^{注)}

	日時	噴煙			震動波形	空振	備考
		高さ	色	流向			
2001	1	01/01/11 10:38	800	灰白色	東	不明	
	2	01/03/19 06:48	800	灰白色	南西	低周波地震	07:40頃まで継続。前日午後は低周波地震群発状態
	3	01/05/27 05:05	×	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	4	01/05/27 06:04	1,200	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	5	01/06/03 06:34	700	灰白色	南東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	6	01/06/10 19:25	500	灰白色	東	低周波地震	あり
	7	01/06/13 02:29	×	(雲)	(東)	低周波地震	あり 空港カメラに火山灰が少量付着。
	8	01/06/24 20:12	×	(雲・夜)	(西)	低周波地震	あり 翌朝の現地調査で、自動車に灰混じりの雨が降ったあとを確認
		01/06/24 22:34	×	(雲・夜)	(西)	低周波地震	
	9	01/07/10 06:38	500	灰白色	南西	低周波地震	
	10	01/07/10 08:23	500	灰白色	南西	低周波地震	
	11	01/07/18 17:42	×	灰白色	北東	低周波地震	あり
	12	01/09/26 11:32	1000	灰白色	東	低周波地震	
	13	01/09/27 21:28	1000	灰白色	北西	低周波地震	あり 22:15頃まで継続。都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	14	01/09/27 23:04	800	灰白色	北西	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	15	01/09/28 05:28	800	灰色	北東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	16	01/10/11 03:34	×	(雲)	東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	17	01/10/11 09:02	100未満	灰白色	東	なし	火口縁に降灰するのを確認
	18	01/10/16 07:22	1500	灰色	北西	微動	あり 都道沿いで降灰確認
19	01/11/01 12:32	800	灰白色	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認	
2002	1	02/01/23 12:34	200	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	02/02/21 17:37	300	灰白色	東北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	3	02/03/02 05:53	×	灰白色	北西	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	4	02/03/02 06:12	×	灰白色	北西	低周波地震	あり
	5	02/03/31 06:03	800	灰色	北東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	6	02/04/02 10:02	300	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	7	02/04/03 10:41	200	灰白色	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	8	02/04/16 06:00	×	(雲)	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	9	02/06/15 16:19	500	灰白色	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	10	02/08/01 17:42	×	(雲)	東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	11	02/09/16 05:10	×	(雲)	南西	不明	都道沿いで降灰確認
	12	02/10/08 14:51	200	灰白色	東	なし	空港カメラに火山灰が少量付着
	13	02/11/24 13:16	×	(雲)	南～南西	低周波地震	都道沿いで降灰確認
2004	1	04/11/30 07:46	300	灰色	東	低周波地震	あり 空港カメラに火山灰が少量付着
	2	04/12/02 16:45	600	灰色	南西	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	3	04/12/7 15～04/12/8 06	×	(夜間)	(東)	低周波地震	あり 8日朝に火口東3kmの地点で降灰確認 7日17時～8日06時に発生した低周波地震に伴うと思われる
	4	04/12/09 06:16	×	(雲)	(西南西)	低周波地震	あり 小手倉カメラに火山灰が付着
2005	1	05/04/12 04:45	×	(雲)	(南西)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	05/05/18 02:41	200	白色	(北)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
2006	1	06/2/17 22:38～06/2/17 23:34	300	白色	(東～東南東)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	06/08/23 04:28	500 700	灰色 白色	南東	低周波地震	あり 空港カメラで灰色の噴煙を確認 島南東部の都道沿いで降灰を確認
2008	1	08/01/07 06:54	300	灰色 白色	南東	やや低周波地震	あり 空港カメラで灰色の噴煙を確認 島の東から南東部の都道沿いで降灰を確認
	2	08/05/08 08:32	200	灰色	南東	低周波地震	あり 小手倉カメラ、空港カメラで灰色の噴煙を確認
2009	1	09/04/01 16:17	600	灰色	東	低周波地震	あり 小手倉カメラ、神着カメラ、坪田カメラ、火口カメラで灰色の噴煙を確認 島東部の都道沿いで降灰を確認
	2	09/04/18 01:06	×	(雲)	(南東～南)	やや低周波地震	あり 島の南東から南部の都道沿いで降灰を確認

注)遠望カメラで有色噴煙を観測したもの、又は山麓で降灰を確認したものに限る。

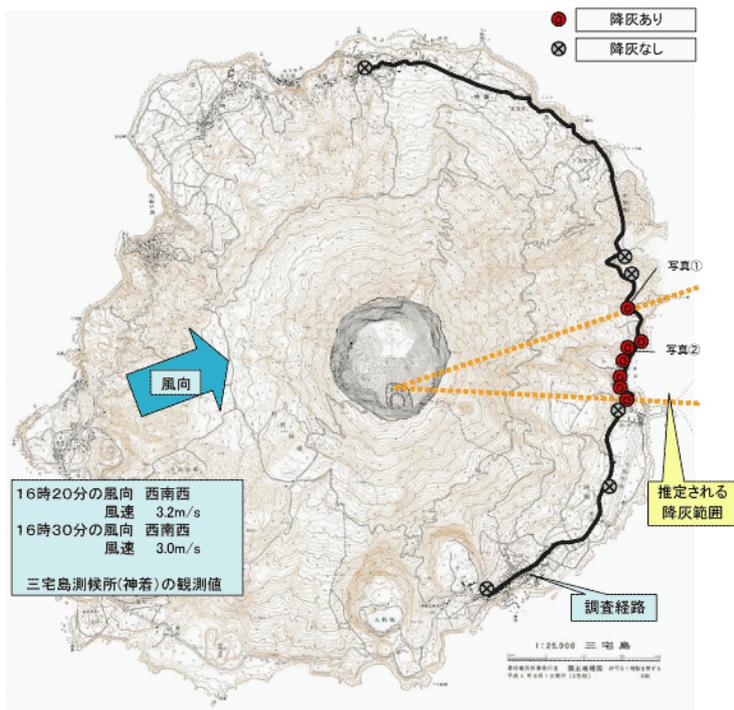
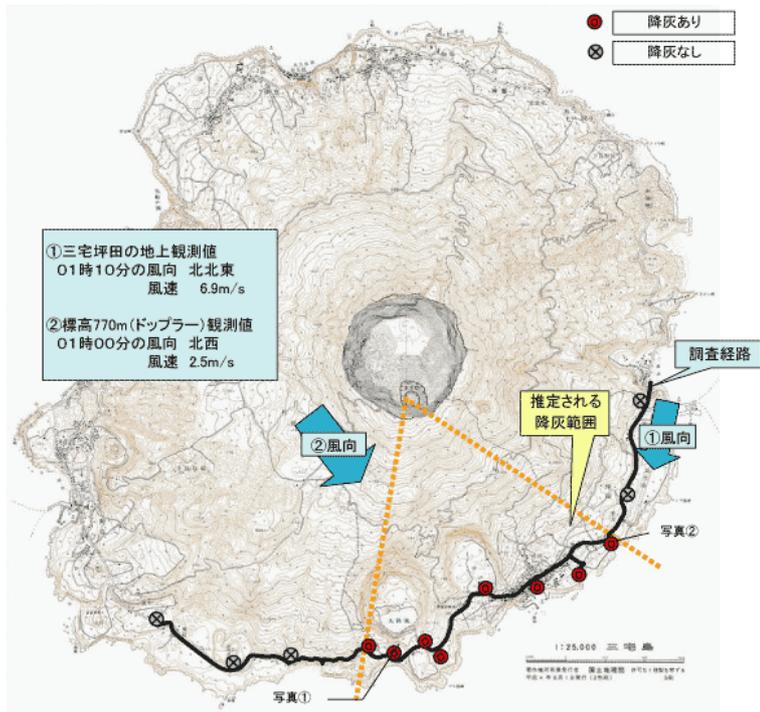


図2 1日の噴火に伴う降灰の状況
 右上：サタドー岬付近（写真 で撮影） 右下：三池浜（写真 で撮影）



上図 の観測値は東京都のデータによる

図3 18日の噴火に伴う降灰の状況
 右上：アカココ館の駐車場（写真 で撮影） 右下：空港南側の民家（写真 で撮影）

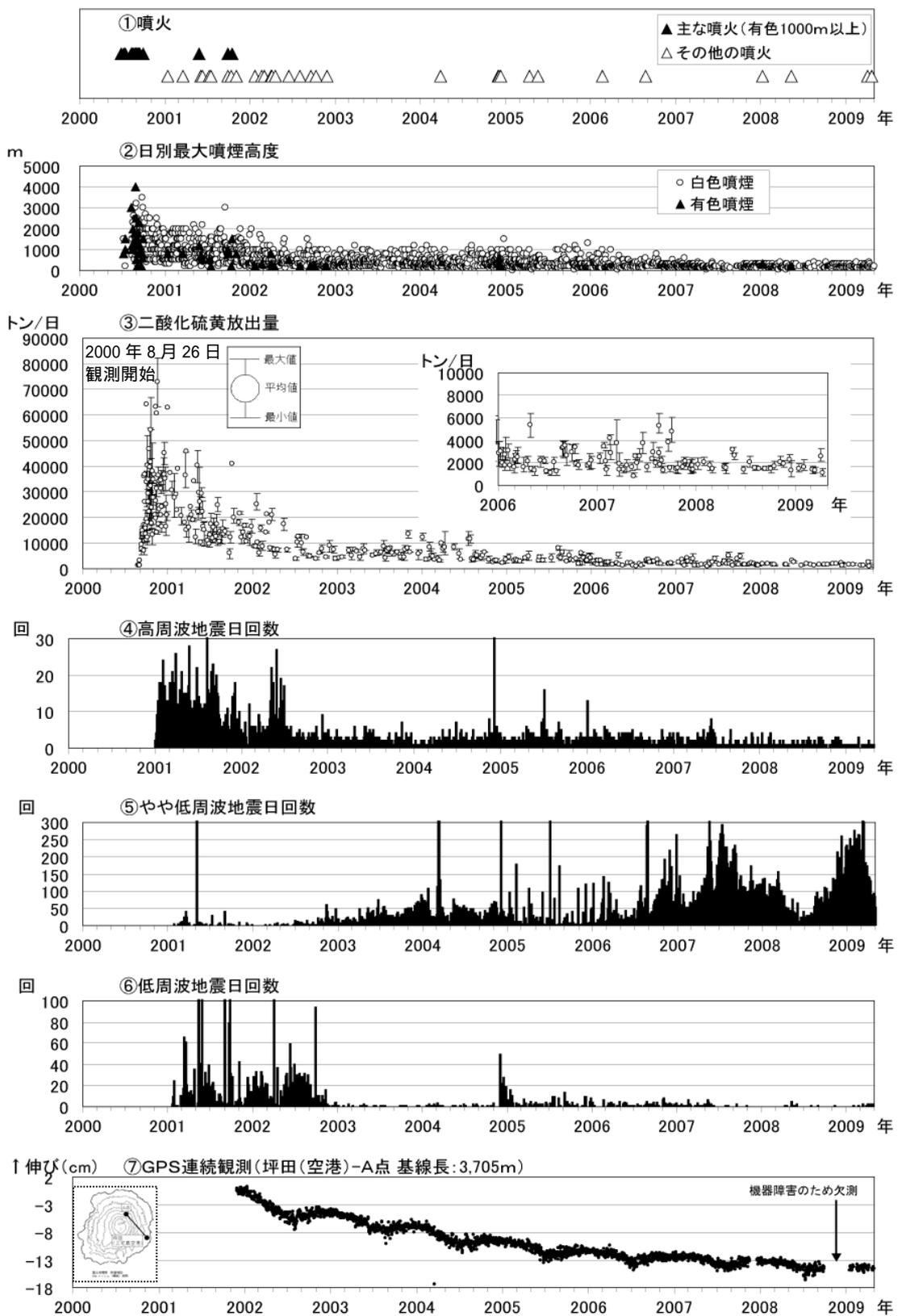


図4 三宅島 最近の火山活動の推移(2000年1月~2009年4月)

は、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成しています。

、及び は、地震の種類別(図9参照)に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載しています。

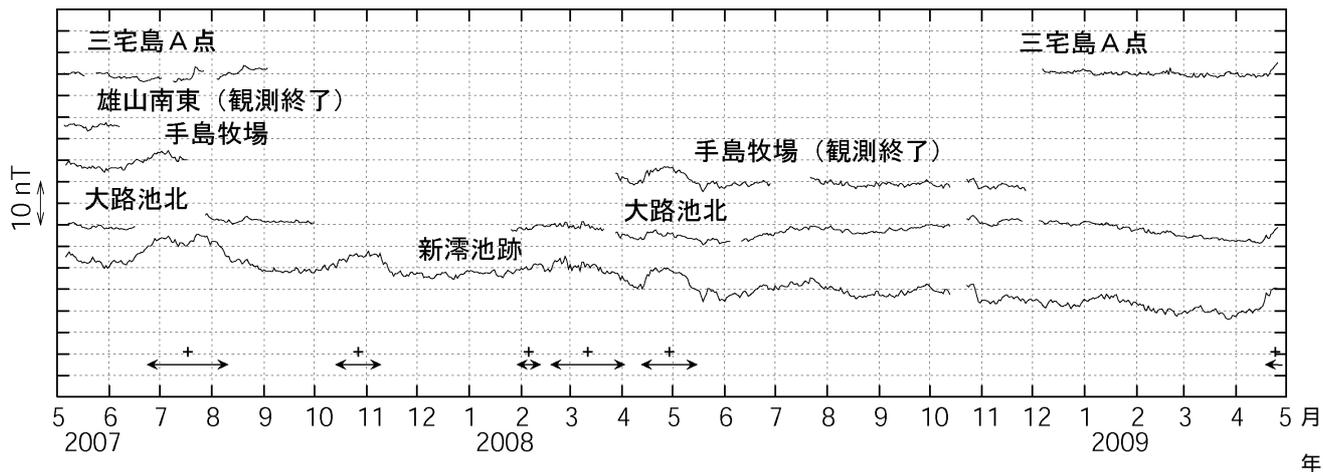
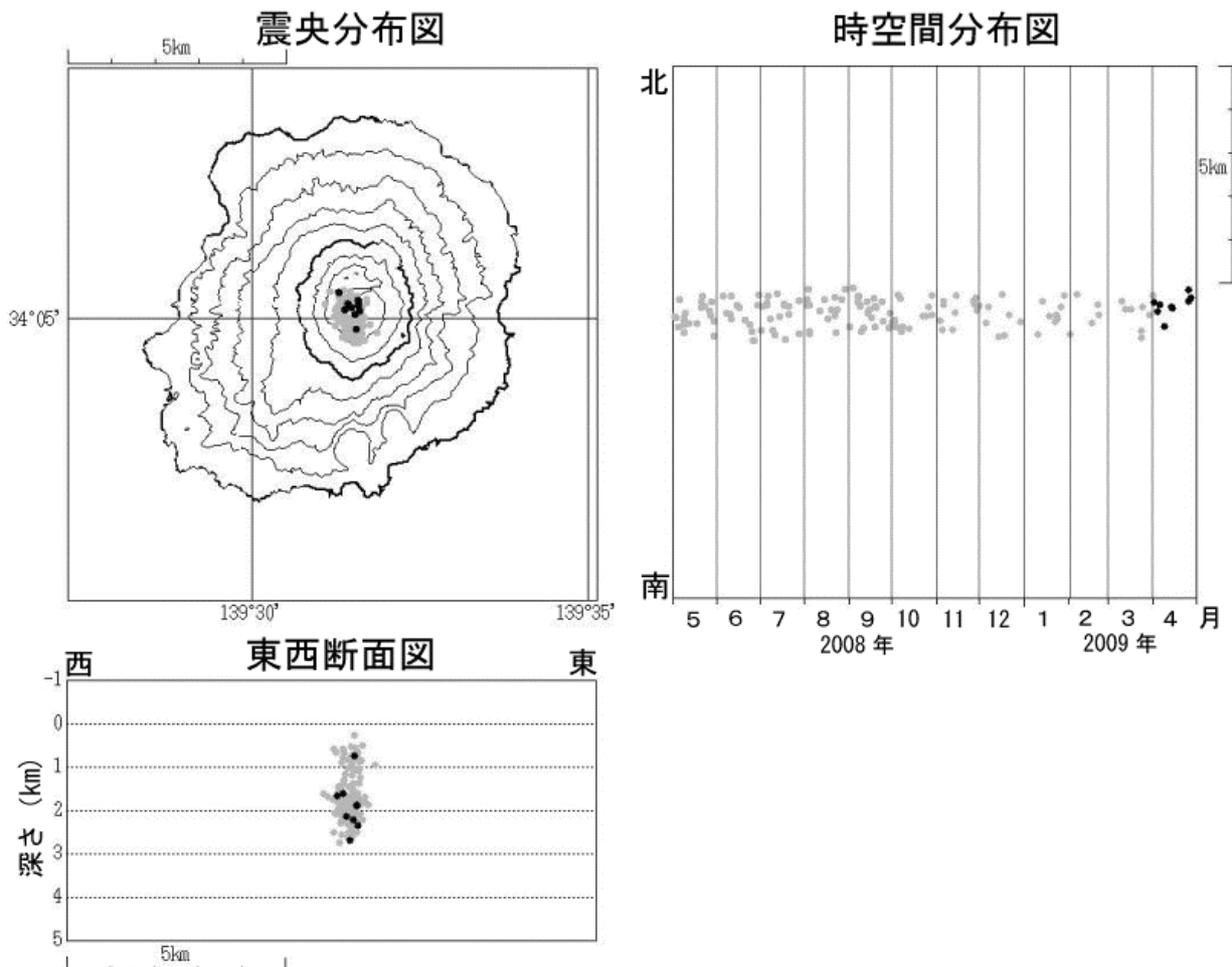


図5 三宅島 全磁力連続観測による全磁力値の変化(2007年5月~2009年4月29日)
 示した期間の全磁力値は三宅島周辺の海流の影響を受けていると推測されます。
 nT(ナノテスラ)は磁場の強さを表す単位です。
 全磁力の変動の原因は不明ですが、黒潮の流軸が離れていく場合に減少の傾向が、また接近している場合は増加の傾向がみられます。



: 2008年5月1日~2009年3月31日 : 2009年4月1日~4月30日

図6 三宅島 震源分布図(2008年5月1日~2009年4月30日)

表 2 三宅島 2009 年 4 月の火山活動状況

	噴火回数	火山性地震回数 ³⁾			微動回数	噴煙の状況 ⁴⁾		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震 (空振りあり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	1	1	141	2	2	×	×	16時17分ごく小規模な噴火、山麓で降灰
2日	0	0	58	0	0	200	1	
3日	0	0	80	0	0	×	×	
4日	0	1	42	0	0	300	2	
5日	0	2	87	0	0	200	1	
6日	0	0	112	0	0	×	×	
7日	0	0	138	0	0	—	—	二酸化硫黄放出量 2,100~3,200トン/日
8日	0	0	105	0	0	100	1	
9日	0	1	129	0	0	100	1	
10日	0	0	61	0	0	400	2	
11日	0	0	71	2	3	300	1	
12日	0	0	51	0	0	×	×	
13日	0	1	68	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 800~1,500トン/日
14日	0	1	84	0	0	×	×	
15日	0	0	63	0	0	200	2	
16日	0	0	88	0	0	100	1	
17日	0	0	34	0	0	×	×	
18日	1	0	24	0	0	×	×	01時06分に噴火が発生した模様、山麓で微量の降灰
19日	0	0	15	0	0	×	×	
20日	0	0	47	0	0	×	×	
21日	0	1	46	0	0	×	×	
22日	0	0	94	0	0	100	1	
23日	0	0	56	0	0	—	—	
24日	0	0	46	2	0	×	×	
25日	0	1	28	0	0	×	×	
26日	0	1	83	0	0	—	—	
27日	0	1	81	0	0	100	1	
28日	0	0	51	0	0	—	—	
29日	0	0	44	0	0	200	1	
30日	0	0	52	0	0	200	1	
合計	2	11	2079	6	5			

3) 火山性地震の計数基準は A 点で最大振幅 8 $\mu\text{m/s}$ 以上、S-P 時間 3 秒以内です。
火山性地震の種類は以下のとおりです。

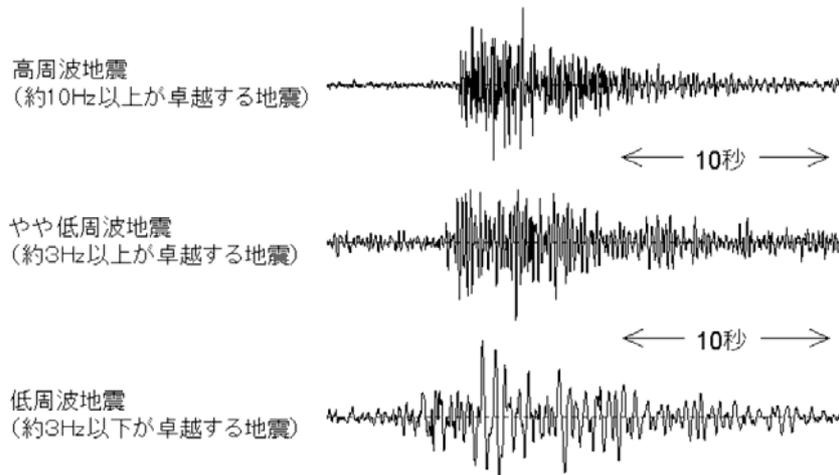


図 7 三宅島 主に発生している火山性地震の特徴と波形例

4) 噴煙の高さ及び噴煙量は定時観測(09 時・15 時)の日最大値です。噴煙量は以下の 7 階級で観測しています。
1 : 極めて少量 2 : 少量 3 : 中量 4 : やや多量 5 : 多量 6 : 極めて多量
7 : 噴煙量 6 以上の大噴火で、噴煙が山体を覆う位に多く噴煙の高さは成層圏まで達したと思われるもの
- : 噴煙なし x : 不明

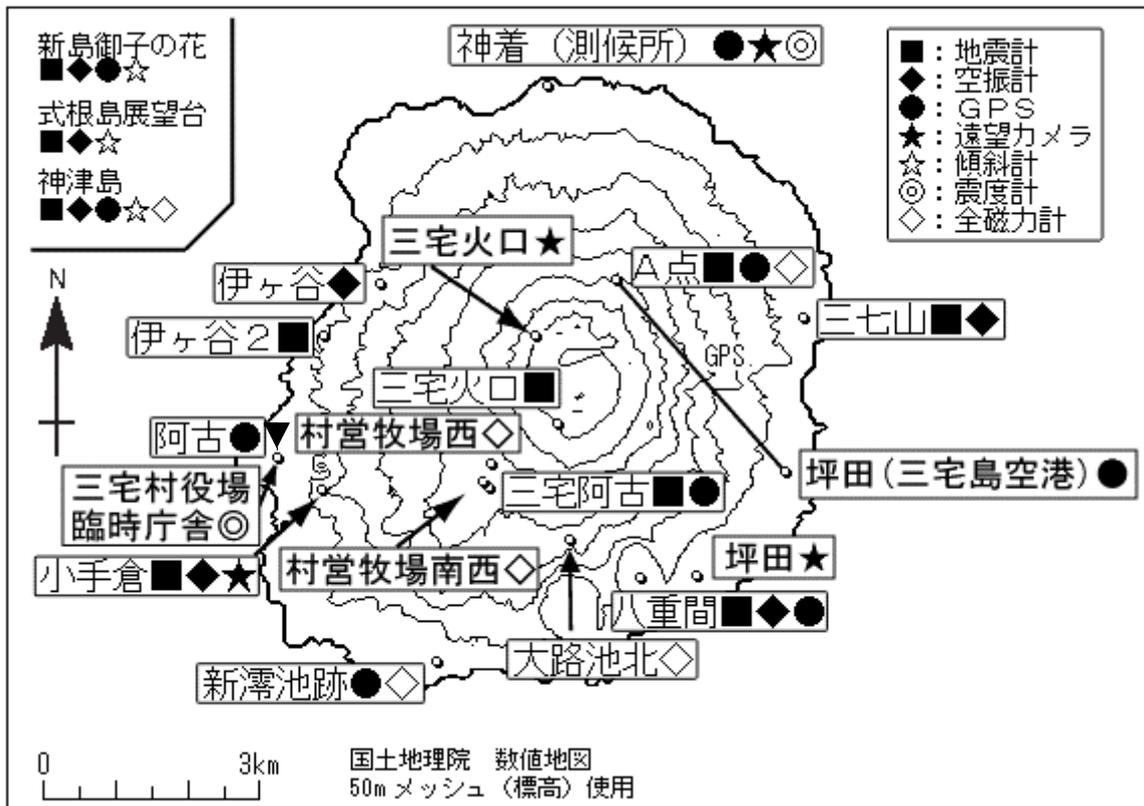


図 8 三宅島 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
GPS 基線（A点 - 坪田）は図 4 の に対応しています。